

京都女子大学

食物學會誌

第 2 號

JOURNAL OF FOOD SCIENCE

KYOTO WOMEN'S UNIVERSITY

No. 2

京都女子大学家政学部食物学会

FOOD SCIENCE SEMINAR

DEPARTMENT OF HOUSEHOLD SCIENCE

KYOTO WOMEN'S UNIVERSITY

SEPTEMBER 1957

食 物 学 会 誌

第 2 号

目 次

綜 説

- 抗 生 物 質 と 栄 養.....平 友 恒 1
- 食品衛生的見地から観た腸内細菌の今昔〔Ⅱ〕.....平 田 一 士 4
「特に病原性大腸菌群に就いて」
- 台 所 の 電 子 機 器.....岡 部 巍 16

研 究

- 所謂結核県石川の結核死者数の動向と.....土 屋 忠 良 子 25
これが予防撲滅諸対策の効果 森 田 道 子
- ほうれん草の萎凋による成分の変化.....古 米 幸 子 33

自 由 論 叢

- 籠 甲 鮭.....今 村 博 子 38
- 島 の 子 供 達.....吉 川 勝 美 38

昭和31年度 卒業論文要旨.....40

学 び の 窓

- 栄 養 実 習 記.....54
- 工 場 見 学 記.....58
- 研 究 室 だ よ り.....59

学 会 だ よ り.....63

編 集 後 記.....65

	日	時	講 演 題 目	講 師
第1日	8月1日	8.30~10.30	救荒食物と将来の食品	本学講師 丹 信 実
		10.30~12.30	放射性物質	本学教授 理博 鳴 海 元
第2日	8月2日	8.30~10.30	病 人 食	京都大学 助教授 医博 桂 英 輔
		10.30~12.30	栄養化学一般	大阪栄養化学 研究所々長 医博 茶 珍 俊 夫
第3日	8月3日	2.00~6.00	洋食料理見学及試食(於都ホテル)	都ホテル料理係主任 藤原 謹 造 襄 " 宴会係主任 大 橋
第4日	8月4日	8.30~10.30	食 中 毒	本学教授 医博 平 田 一 士
		10.30~12.30	蛋白食品に関する二三の問題	京都大学教授 農博 奏 忠 夫

編 集 後 記

- ◆昨年創刊の本誌も第2年を迎え、本年度より年2回発行の予定となり、ここに第2号をお送りします。本号には特に30年度卒業生の卒論要旨を掲載しました。
- ◆編集委員を交代したのは夏休み直前のことであり、前期未までに発行との事でしたが、長い休暇のため思う様に進まず、遅刊したことをお詫びします。
- ◆第3号原稿を別記の通り募集しますから奮って御投

稿下さる様お願いします。

- ◆本誌編集に関して御意見、御希望等があれば委員まで御申し出下さい。(太田記)

第 3 号 原 稿 募 集
締 切 日 12 月 20 日

別記投稿規定により多数御投稿下さい。

投 稿 規 定

1. 投稿は食物学科に関係ある、綜説、調査、研究報文、自由論叢、研究室だより、学級・卒業生だより、実習記及び見学記とし、食物学会会員並に当食物学科の卒業生とする。原稿には前記区分を明記すること。
2. 原稿の取舍は編集会議で決める。又原稿中の字句については加除修正を行うことがある。
3. 原稿には表題、著者名及び所属(卒業生は卒業年次専攻)等を併記し、第1項による区分を明記のこと。
4. 原稿は400字詰原稿用紙を用い30枚以内とする。
5. 原稿は平かな、新かな使い横書きとし、欧語音読には片かなを用いる。但し物質名、人名等は欧文のままとする。図は白紙又は青線方眼紙に丁寧に墨書し、原稿とは別紙とすること。
6. 動植物の学名の下には――を付け、(イタリック体となる)、和名は片仮名をもちいる。ゴチック体には〰〰〰の下線をつける。数字はすべてアラビア数字を用い、数量の単位はメートル法による原則とする。
7. 句読点、カッコには1画を与える。ハイフンは区画の野線上に明瞭に書くこと。
8. 校正は初校に限り、著者が行う事を原則とする。
9. 綜説、研究報文、自由論叢については、希望者に対し別刷20部を贈呈する。それ以上の希望数に対しては実費申し受ける。希望者は原稿に希望数を朱記すること。
10. 原稿の送付、連絡は下記とする。
京都市東山区東山七条
京都女子大学食物学会誌編集委員宛

昭和32年9月25日印刷
昭和32年9月30日発行 (非売品)

編集発行者 一 瀬 雷 信
京都市東山区東山七条(TEL.⑥6131)
京都女子大学家政学部食物学会

印刷所 ニ ュ ー ・ ヘ ル ス 社
京都市上京区相国寺東門前町684
電 ③ 4 4 4 5